

No	テーマ	内容	対象者			大学等名称	学部	氏名		問合せ先
			小学生	中学生	高校生					
1	「支える人」を支える—ケアをめぐる心理学	医療・福祉・教育などの専門的なケアはもちろん、子育てや家族介護などの身近なケアも含めて、広く「ケア」に関わる臨床心理学の知見を紹介する。ケアすることの意義、カウンセリングをもとにした良好なコミュニケーションのあり方、「傷ついた癒やし手」などの概念について、わかりやすく講義する。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	林 智 一	香川大学 地域連携推進課
2	こころの理解と支援	臨床心理学ではこころの理解について「心理アセスメント」という言葉を使います。問題や症状の側面だけではなく、長所や資質のような肯定的側面にも注意を払うべきだという意味が込められています。その実際に体験し、支援につながる方法を考えます。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	橋本忠行	香川大学 地域連携推進課
3	心理学って何？	「心理学」とはその名のとおり、「心を理解する学問」ですが、その研究の範囲はとても広いです。そこで、心理学における様々な分野の研究から代表的なものをいくつかピックアップし、分かりやすく紹介していきます。	—	○	○	香川大学	医学部	准教授	野口 修司	香川大学 地域連携推進課
4	カウンセリングとは何か、家族の理解と支援、組織の理解と支援など	カウンセリングの実践に基づき、カウンセリングとは何か、家族の心理、組織の中での心理力動、メンタルヘルス・ハラスメント理解などについて、実践に基づいてわかりやすく説明する。	—	○	○	香川大学	医学部	教授	竹森元彦	香川大学 地域連携推進課
5	英語の成り立ち	英語の文法の諸相についていくつかの現象を取り上げて語る。英語の歴史的成立過程のいずれかの段階について語る。	—	—	○	香川大学	教育学部	教授	永尾 智	香川大学 地域連携推進課
6	友達との対話を通して学ぶ算数・数学	友達との対話を通した算数・数学学習を体験します。その体験から、学習における対話の意義について考えます。	○	○	—	香川大学	教育学部	教授	松島 充	香川大学 地域連携推進課

7	人としてともに生きる、自分づくり な かまづくり	(学校で行われている道徳教育や人権教育について)人として他者とともに に生きることの大切さや、人として「したくてもしてはいけないこと」や「した くなくても しなければいけないこと」について考える。	○	○	—	香川大学	教育学部	教授	植田 和也	香川大学 地域連携推進課
8	やる気の心理学	勉強や仕事など、「やる気」が問題になる場面は少なくありません。やる気 とは何か、どうすればやる気が高まるのかについて、心理学を通して考え ます。	○	○	○	香川大学	教育学部	准教授	岡田 涼	香川大学 地域連携推進課
9	自尊感情の心理学	自分のことを大事だと思う気持ちのことを自尊感情といいます。心理学の 研究をもとに、自尊感情の特徴について考えます。	—	—	○	香川大学	教育学部	准教授	岡田 涼	香川大学 地域連携推進課
10	いじめ問題を考える	いじめの定義やメカニズム、いじめの加害者や傍観者の心理、いじめ防 止対策推進法に基づくいじめの予防と対応など、対象に合わせて「いじめ 問題」を考えます。	○	○	○	香川大学	教育学部	教授	金綱 知征	香川大学 地域連携推進課
11	ネット利用上のモラルとリテラシーを考 える	SNS等における誹謗中傷や個人情報暴露、不適切投稿や炎上、犯罪巻 き込まれなどのネット媒体問題について、その背景要因を探り、被害者にも 加害者にもならないための情報モラルと情報リテラシーについて考えま す。	○	○	○	香川大学	教育学部	教授	金綱 知征	香川大学 地域連携推進課
12	カタカナ語・略語について	世の中に氾濫しているカタカナ語・略語について正確な形式、歴史・起 源、利点・欠点などを学ぶ。	—	○	○	香川大学	教育学部	教授	中住 幸治	香川大学 地域連携推進課

13	風水の文化人類学—中国の風水と日本の家相を比較して	現在日本で広がっている風水ブームや、家相をアレンジした日本独自の風水文化と中国古来の風水、沖縄の風水などを手がかりに、文化人類学の視点から、「風水とは何か」に迫る。	—	—	○	香川大学	経済学部	教授	緒方 宏海	香川大学 地域連携推進課
14	日本の漁民の神々媽祖と船霊信仰—文化人類学へのいざない	香川県や青森県大間を中心にして日本漁民における媽祖と船霊信仰の諸相、トランスナショナルな信仰の実態を解説するとともに、フィールドワークという文化人類学の核心をなす営みを通して、この学問の面白さを初心者に伝える。	—	—	○	香川大学	経済学部	教授	緒方 宏海	香川大学 地域連携推進課
15	瀬戸内海離島から日本文化を考える—文化人類学の視座から	「島を通して世界を見る」という人類学の視座から、瀬戸内海離島からみた日本文化の本土と離島・海洋の多様なつながりを探る。島民の生活、島独自の習俗や祭儀、中国黄海離島からみた中国文化とも比較しつつ、人はなぜ島に惹かれるのかをも考える。	—	—	○	香川大学	経済学部	教授	緒方 宏海	香川大学 地域連携推進課
16	発展と平和	世界の貧困は、平和を脅かすので、経済発展が必要でしょうか。それとも、それでは人類が限られた資源を奪い合って、かえって平和を脅かすでしょうか。発展と平和という人類が追求してやまない二つの目標は、果たして同時に達成できるのかを考えます。	○	○	○	香川大学	法学部	教授	石井 一也	香川大学 地域連携推進課
17	ガンディーの非暴力思想	グローバル社会が、暴力の様相を強めてゆくなかで、ますます重要性をましているガンディーによる非暴力の思想と実践について考えます。	○	○	○	香川大学	法学部	教授	石井 一也	香川大学 地域連携推進課
18	触れてみよう！ラテン語	古代ローマの公用語として広く普及したラテン語はいわゆる「死語」ですが、英語をはじめとする近代語の基盤として、重要な役割を果たしています。そんなラテン語の魅力を紹介します。	—	—	○	香川大学	大学教育基盤センター	教授	佐藤 慶太	香川大学 地域連携推進課

19	哲学ってどんな学問？	難しいというイメージがある「哲学」。そもそも一体何をする学問なのか、西洋哲学の歴史に触れながら、分かりやすく解説します。	—	—	○	香川大学	大学教育基盤センター	教授	佐藤 慶太	香川大学 地域連携推進課
20	太宰治 『走れメロス』の世界 —義人メロスの死と再生—	太宰治の『走れメロス』は、しばしば「愛と信頼の素晴らしさを歌い上げた明るく単純な作品」として紹介されます。確かに「明るい」のですが、けっして「単純」な作品ではありません。「愛と信頼」は、事実、本当に可能なのか。「正義の人」メロスの挫折と再生のプロセスを追いつつ考えます。			○	四国学院大学	文学部	教授	丹羽 章	四国学院大学 入試課
21	「東アジア史」から考える「日本人」と「日本文化」	「日本人」とは誰ですか。「日本文化」とは何ですか。自明なもののように思われるこの問いを「東アジア史」の観点から考えてみましょう。この講義では、文化や伝統の普遍と特殊の問題について、縦の時間軸と横の空間軸で眺めるアイデンティティの多様性という観点から学習します。			○	四国学院大学	文学部	教授	金 泰勲	四国学院大学 入試課
22	身近な地域を知る	身近な地域について、その人文・自然的特徴を考えたいと思います。普段生活している場所の状態や成り立ちなどを確認し、社会科で学ぶ内容との関連性や地域の課題などについて知ってもらいたいです。具体的には、地域社会に関係する人口や産業など、自然災害に関わる地形や気候などの特徴について、地域に適した内容を紹介していきます。			○	四国学院大学	文学部	准教授	金子 直樹	四国学院大学 入試課
23	なぜ戦争が起こるのか？ガザ虐殺とウクライナ戦争、そして日本は？	なぜイスラエルは「ガザ虐殺」を止めないのか？なぜアメリカはイスラエルに軍事支援をするのか？アメリカとイスラエルが国連と対立するワケ。アメリカの若者たちがイスラエルを批判する理由は？中東情勢やウクライナ戦争など、戦争の報道に危機感を覚えるかも知れません。その危機は日本に及ぶのでしょうか。日本は防衛費を倍増して軍事力を増強すれば“安全”なのでしょうか。日本が戦争に巻き込まれないために必要なことを考えます。 【使用機材】PC の HDMI 接続できるプロジェクターかモニター（PC は持参します）			○	四国学院大学	文学部	教授	井上 雅義	四国学院大学 入試課
24	文学が培う宗教リテラシー／宗教的センス	宗教リテラシー／宗教的センスとは何か。現代社会で生き抜くために必要な感性です。宗教との向き合い方や信仰を持つ人たちとどう関わるかについて考える力を身につけていくことを目的としています。本講義では、戦後に活躍したカトリック作家の遠藤周作の作品群を取り上げます。『沈黙』や『深い河』などの代表作が扱う諸課題を通して、知識だけでは説明がつかない「宗教」の謎・おもしろさに気づくことができるかもしれません。 【使用機器】（パワーポイント使用 PC、プロジェクター			○	四国学院大学	文学部	准教授	ネルソン ジョシュア	四国学院大学 入試課

25	歴史像を組み立てる	歴史は過去の出来事ですが、私たちは過去の出来事それ自体は直接観察できません。ではどのようにしたら過去の歴史を知ることができるのでしょうか。私たちは過去の人間が残した何らかの活動の痕跡である「史料」に基づいて歴史像を組み立てて、それによって過去の出来事に迫ることができます。この講義では実際に史料を読みながら、歴史を探究していきます。			○	四国学院大学	文学部	助教	松本 智也	四国学院大学 入試課
26	自分の興味を深めよう	「自分の興味のあることって何だろう?」、「なぜ興味があったのに、続かなくなったりするのか?」という疑問をもとに、自分の興味と向き合い、考えるワークを行います。また、興味がどのように深まり、学びや人生にどう役立つのかを、教育心理学の研究を中心に紹介します。本講義では、自分の興味を理解し、その深め方について一緒に考えていきます。 【使用機器】パワーポイント使用)PC、プロジェクター			○	四国学院大学	文学部	助教	本田 真大	四国学院大学 入試課
27	「なぜ」を徹底的に探求する哲学	哲学は驚きから始まる、と言われます。私たちが抱く驚きは、なぜそうなるのかの根拠や原因がわからないものごとに対してあるものであり、そこで同時に生じる根拠や原因への好奇心こそが人を哲学的探求へと向かわせるのです。つまり哲学は、ものごとの根拠や原因を知りたくなる好奇心に基づく探求のことなのです。この講義では、そうした哲学的探求の典型的な例として、存在に関する問題を取り上げてわかりやすく紹介します。			○	四国学院大学	文学部	助教	小山田 圭一	四国学院大学 入試課
28	人を理解する心の仕組み	無意識の思い込みによって、他者との関係が悪くなったり、偏見や差別が生じたりすることは少なくありません。よりよい人間関係を築いていく手掛かりとするために、人を理解する心の仕組みについて考えていきます。	○	○	○	高松大学	発達科学部	教授	横川和章	高松大学・高松短期大学 入学センター
29	コミュニケーション力を高めよう	コミュニケーション力を高めるためには、適切な社会的スキルを身に付けることが大切です。行動理論をもとにして「話す・聴く」「心を伝える」などの上手な対人スキルを考え、体験しながら「人と上手に付き合うコツ」を学んでいきます。	○	○	○	高松大学	発達科学部	講師	織田幸美	高松大学・高松短期大学 入学センター
30	人間あるあるを心理学で読み解いてみよう!	心理学とは、人間取扱説明書のようなものです。感情や性格、学習、人間関係における「私」や「あなた(たち)」について、科学的根拠に基づいて考えることができるようになります。「心とは何か」…そんな疑問や不思議を感じたことがあれば、ぜひ心理学の扉を開いてみませんか?	-	○	○	高松短期大学	保育学科	教授	中村多見	高松大学・高松短期大学 入学センター

31	古墳や城跡をもとに「ふるさと」の歴史を知ろう	発掘調査などの成果にもとづいて、身近な古墳や城跡について解説します。(現地見学もできます)	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	講師	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
32	発掘された農具や漁具などをもとに「ふるさと」の歴史を知ろう	発掘調査などの成果にもとづいて、香川県内の農業、漁業、手工業などの歴史について解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	講師	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
33	屋島で讃岐とヤマト王権の深い結びつきを知ろう	屋嶋城や鑑真や空海にまつわる伝説などを手がかりにして、讃岐とヤマト王権との強い結びつきについて解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	講師	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
34	朝鮮式山城の本当の築城の目的を知ろう	朝鮮式山城はヤマト王権によって唐と新羅に対抗するために築城されたとされていますが、香川県の城山城と屋嶋城を比較することでそれぞれが異なる目的のために築城されたことを解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	講師	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
35	最古の讃岐ブランド「円座」の歴史を知ろう	「讃岐円座」のブランド名は鎌倉時代に登場します。奈良時代からの長い時間の中で讃岐ブランドとして進化した円座の歴史を解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	講師	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
36	屋島は本当に源平合戦の古戦場なのか考えてみよう	現在の屋島に伝わる源平合戦の古戦場は「いつ」「だれが」「何を根拠にして」決定したのかわからないことばかりです。『平家物語』との関連や屋島の地形などを手がかりに解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	講師	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター

37	対人・社会心理学から見る医療や社会との上手な付き合い方	医療従事者は医療の専門家です。ですがあなたの専門家ではありません。あなたのことを何でも知っているわけではありません。あなたが伝えなければいけないこともあります。あなたの「当然分かってくれているだろう」が思わぬ事態(事故等)を招きます。これ以外にも様々な医療事故を防ぐために、あなたに知っておいていただきたい医療との上手な付き合い方をお話させていただきます。 お話しする付き合い方の基本は、お互いの「対人コミュニケーション能力」によるものです。これは医療だけに限ったものではありません。対人・社会心理学の観点から医療のみならず社会全般で通じることを幅広く解説します。	—	○	○	徳島文理大学	保健福祉学部	教授	飯塚 明寿	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
38	【体験型】 歴史災害と地形環境	巨大地震や風水害などの被災度には大きな地域差があります。土地の生い立ちと歴史的变化をたどり、先人の工夫と教訓を災害軽減につなげる智慧を学びます。(対象校周辺の地図・写真を用います。)	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	古田 昇	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
39	数百年を経た木の建築がなぜ残っているのか！	現存する世界最古の木造建築である法隆寺金堂をはじめ日本の木造建築は数百年を経てもなぜ残っているのでしょうか。守り伝えるための智慧と工夫を歴史的に解き明かしながら、日本文化の特質を考えてみます。	—	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	清水 真一	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
40	四国遍路の世界遺産に向けた取り組みとは？	長い歴史を持ち、今もたくさんの人たちが巡礼する四国遍路は、世界に誇る地域の宝です。四国では、この四国遍路を世界遺産にしようとする取り組みが進められています。世界遺産のあらましや、四国遍路の歴史などをわかりやすく紹介します。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	上野 進	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
41	日本列島における古代国家の成立 支配の固定化を目指した運動の到達点	「平等」という考え方の定着は歴史的には新しいし、まだ実戦の方法は試行錯誤の段階にある。残念ながら我々は長い「不平等」の歴史を負っているし、まだそれに馴染んだ考え方も残っている。もし貧困の解決に真摯に取り組むならば、このことを含めた「不平等」の起源に目を向け、その「発展」の経緯を理解することは必要だ。				徳島文理大学	文学部	教授	大久保 徹也	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
42	土器のかげらから何が見える？	ちょっと気をつければ過去の社会や文化を読み解く手がかりはあちこちにあります。小さな土器や石器のかげらにも込められた過去のメッセージを読み解くのが考古学です。資料を観察しながら一緒にメッセージを解読してみましょう。推理小説のような醍醐味を味わうことになります。(日本史を履修済か否かを知らせてください。)	—	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	大久保 徹也	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター

43	「伊能忠敬の日本地図」を読み解く	江戸時代に日本全国を歩いて測量を行い、日本地図を完成させた伊能忠敬。彼が作った地図は「伊能図」と呼ばれ、描かれる地形が正確であることはよく知られています。この「伊能図」が何のために、どのようにして作られ、その後の日本の歴史にどのような役割を果たしたのかを考えてみます。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	久下 実	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
44	むかしの人々が考えた地球のすがた	現在では、地球の形や大きさは科学的に証明され、現代に生きる私たちには当たり前の事実となりました。しかし、それが明らかになるまで、日本をはじめ世界各地には、さまざまな「地球のすがた」があり、その背景にはその地域の神話や宗教が深く関わっています。この授業では、主に日本とヨーロッパでの「地球のすがた」の探究のあゆみをたどりながら、そこから見えてくることを考えてみます。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	久下 実	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
45	生きることと「詩」 —良寛の場合—	「生きること」と「文学(詩)」とが深く結びついた、人間探究としての「詩」のありようを、親しみ深い逸話で知られる近世越後の人、良寛を例として読み、困難な時代を生きる私たちにとってのその意義を考えます。	—	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	下田 祐輔	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
46	現代小説を読む	現代小説を読んでみることで、わたしたちが生活している「いま」について考えてみます。題材は、村上春樹の作品を中心に考えていきます。また、皆さんからのリクエストも受け付けています。わたしと一緒に読んでみませんか。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	上田 穂積	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
47	ジェンダーと日本近代文学	「男らしさ」「女らしさ」について考えたことはありますか？こうした素朴な問題を、日本の近代文学を素材に考えます。人間が成長する過程で、いつのまにか身につく文化制度があります。男女をめぐる文化制度を「ジェンダー」といいます。この講義では、文学作品だけでなく、アニメやドラマなども使いながら、文学部で何を学ぶかを体験してもらいます。日本近代文学の入門授業です。	—	—	○	徳島文理大学	文学部	教授	中山 弘明	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
48	お化けから聞く自然のこだま —妖怪学入門	中世から江戸時代にかけての文学・美術を題材に、おなじみの妖怪たちに登場願い、日本人と自然・都市生活とのかかわりからめながら、彼らのプロフィールを読み解きます。山野や身の回りのモノに妖怪たちの影を感じられたら、ちょっと彼らに親しみがわくことでしょう。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	倉本 昭	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター

49	正しい日本語とは何か	日本語の乱れが叫ばれる昨今であるが、変化した日本語と乱れた日本語とはどう違うのだろうか。本講義では、正しい日本語とは何かという問題について、日本語のしくみや変遷をふまえて考える。	—	—	○	徳島文理大学	文学部	教授	青木 毅	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
50	広告に見る英米文化	英米のテレビCMのユニークな表現法や日本のCMとの相違点を実際の映像を見ながら考えていきましょう。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	中島 正太	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
51	映画に見るアメリカの姿	ハリウッドのみならずインディペンデント系も含むアメリカの映画産業を通じて、“人種のるつぼ”から“人種のサラダボウル”へと変容してきた現代アメリカの姿を見てみましょう。	—	○	○	徳島文理大学	文学部	講師	山本 義浩	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
52	アメリカ文学入門	大学ではどのように文学を学ぶのか。アメリカ文学の代表的な作品を題材に、小説の読み方、英語の読み方を体験してみましょう。	—	—	○	徳島文理大学	文学部	講師	山本 義浩	徳島文理大学高松駅キャンパス地域連携センター
53	子どもの心理を知ろう！	心理学の「心」はどこにあるのでしょうか？子どもの「心」の発達にとって必要なもの、子どもの「心」の発達とは何かについて紹介します。「心」について一緒に考えてみましょう。	—	—	○	香川短期大学	子ども学科 第Ⅰ部 第Ⅲ部	准教授	小松陽子	香川短期大学入試センター
54	子守唄の昔と今を知ろう	かつて子守唄は、子守りを労働とする少女たちによってうたわれていました。今日において少女たちが口ずさむ子守唄を耳にする機会はほぼありません。とはいえ、こうした子守唄は地域振興の資源として日本各地で活用され、親しまれてきました。映画、ドラマ、アニメの中に子守唄が織り込まれることも多く、最近では「鬼滅の刃 遊郭編」に登場した子守唄が話題を呼びました。この授業では、日本の子守唄がどのように変化してきたのかをたどることで、人々が地域の文化とどう関わってきたのかを考えます。	—	—	○	せとうち観光専門職短期大学	観光振興学科	助教	松尾 有起	せとうち観光専門職短期大学 広報課